

村田きょうこ マンスリーレポート



No.028 <2024 年 1 月号>



皆さん、ご安全に！村田きょうこです。

2024 年、辰年が幕を開けました。今年も皆さまの声にお応えするために、全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします！

1. 能登半島地震で被災された皆さまへ

石川県能登地方で最大震度 7 を観測した「能登半島地震」が、1 月 1 日に発生しました。お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表します。また、今回の地震や津波によって被災された多くの皆さまへお見舞い申し上げます。

被害状況の全容は明らかになっておりませんが、いま国会議員がやるべきことは、**被災された多くの皆さまが、何を求めておられるのか、どうしてほしいと思っておられるのか**をお聞きし、一日も早くその**切実な思いを実現していく**ことです。政党間で足の引っ張り合いをしている場合ではありません。与野党が一致協力して被災された方々に安心をお届けするために、私も尽力していきます。

石川在住の方よりご連絡をいただき、頂いた要望を立憲民主党に伝えたところ、**その要望が立憲民主党・泉代表から岸田総理へと 1 月 5 日に届けられました**。引き続き、皆さまと連携をとりながら、復旧・復興に向けて取り組むとともに、全国各地の更なる防災対策も検討すべきと考えます。**困りごと、悩み事がありましたら、遠慮なくご連絡ください**。

2. 臨時国会を振り返って

昨年の 12 月 13 日（水）に、第 212 回臨時国会が閉会しました。臨時国会のおもな出来事を振り返ってみます。

（1）再三の早期開会要求に応えず

物価の高騰が続き、実質賃金が下がり続けている現状に対処するために、私たち野党は通常国会が閉じた直後から、政府に対して再三にわたって早期に臨時国会を開催することを求めてきました。しかし、**実際の開会は一昨年の臨時国会よりも 17 日遅く、会期も 2 週間短い 55 日間**となりました。

そんな窮屈な日程もあり、政府が提出した法案（閣法）数は継続 2 本を含め 14 本。すべての閣法が成立しましたが、立憲民主党はうち 10 本に賛成しています。

（2）中身、実施タイミング、効果に疑問符がつく今回の経済対策

11 月 2 日（木）に、新たな経済対策となる「デフレ完全脱却のための総合経済対策」が閣議決定されました。岸田首相は、**所得税・住民税の「減税」を対策の目玉**に



据えていますが、誰もが実感しやすい直接給付ではなく減税であることや、6月以降の実施になること、しかも1回限りに終わるかもしれないという、**中身やタイミングはもちろん、効果のほどにも疑問符がつく**内容です。

報道各社が行った世論調査でも、この減税を「評価しない」と答えた人が6割以上に上るなど、国民の評判も芳しくありません。将来増税するための口実づくりや選挙対策ではなく、物価高騰に苦しんでいる**国民生活のことを真剣に考えた政策議論とその実行**を、政府に求めていかなければなりません。

(3) 経済産業委員会で質疑

11月9日(木) 経済産業委員会で質疑に立ちました。

そこでは、特別高圧への重ねての支援の要請や再工ネ賦課金減免制度の拡充、価格転嫁といった、これまでも訴えてきた内容に加えて、食事補助に対する非課税限度額の引き上げや、退職金課税制度の見直しに対する懸念など、**皆さんとの意見交換の際にお聞きした内容を政府に質しました**。この質疑をした後、「自分たちの労働組合でも悩んでいたことを質問してもらえた」「この前、村田さんに話したことを国政に届けてくれてありがとう」という声を何人もの方からいただいています！



3. 12月の国会見学 2組 35人

12/2 川崎重工労組 関東支部の皆さん



12/22 IHIグループ労連 群馬地方連絡会の皆さん



国立国会図書館にて

2023年も多くの方に国会見学にお越しいただき、ありがとうございました！

今号は以上です。